

(8) 三本松

(宇陀市室生三本松～県境)

琴引峠は江戸時代には伊賀から大和へ越える最初の峠で、津の藤堂藩の高札場と旅人用の井戸がありました。昭和3年の参宮急行の工事で切り下げられ当時の面影はありませんが、「琴引峠跡」など多くの石碑が長命寺境内に移されています。



79 元本陣
道を挟んで庭園が残る



82 安産寺
櫃の一本造りの子安地蔵は重要文化財



83 道の駅「宇陀路室生」
村出身の造形作家、井上武吉のデザイン監修による



88 三重県境
近鉄の鉄橋をくぐると県境はもうすぐ



77 白鳥神社
伊勢で亡くなった日本武尊の霊が白鳥となって飛来したという伝承が残る



78 川口家前の青面金剛
伊勢本街道と初瀬街道(あお越え道)の分岐点。高札場のあった札の辻に建つ



76 琴引峠跡の碑
長命寺境内にあるが、元は跨線橋手前にあった



80 常夜灯
日露戦争集結記念として明治三十九年に建立



81 三本松海神社
祭神は祈雨止雨の豊玉姫命で室生竜穴神社から勧進されたと伝えられる



長瀬から室生寺へ
室生橋を渡り長瀬1号橋の手前から川沿いを進み、獣害除け柵を抜けて滝谷花しょうぶ園をめざす。室生寺までは約12Km。詳細は「宇陀市ハイキングマップ」。(室生寺)



84 長瀬の町並み
食糧が二階壁面に残る食料品店



87 県境の地蔵群
国道のカーブ右側にある。道路の横断は注意!



86 室生寺への道標
辻堂の軒下に室生山絵図を掲げる



85 二階の鏝絵
丸に桔梗も紋と梅を描いた扇

地図内凡例

	道標など		地蔵など
	常夜灯		その他文化資産等
	神社・仏閣・城址など		案内板
	まちがえやすい分かれ道		トイレ